

## Patent Abstracts of Japan

PUBLICATION NUMBER : 07300702  
PUBLICATION DATE : 14-11-95

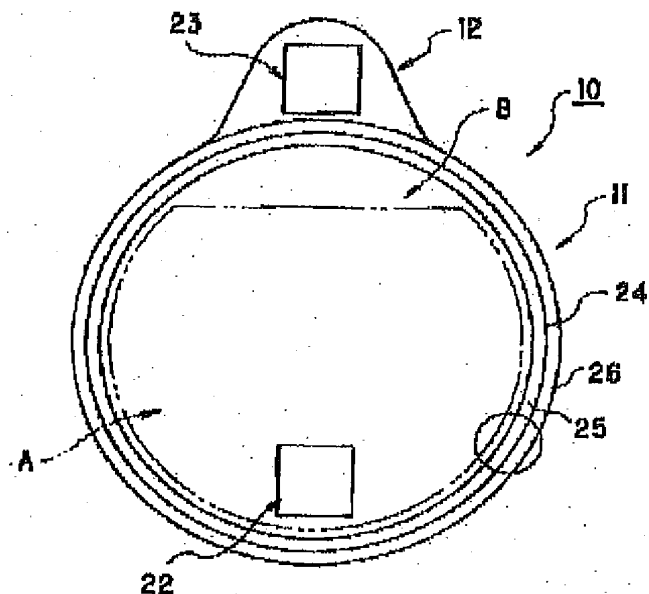
APPLICATION DATE : 25-04-94  
APPLICATION NUMBER : 06108972

APPLICANT : PIGEON CORP;

INVENTOR : NAGASAKA AKIRA;

INT.CL. : A41C 3/04

TITLE : BREAST MILK PAD



ABSTRACT : PURPOSE: To provide an easily attachable breast milk pad resistant to displacement.

CONSTITUTION: The main body 11 of this breast milk pad is produced by laminating a liquid-absorbing member A to a waterproofing member placed outside of at least the absorbing member. The main body 11 is provided with an extension part 12 extending outward from the main body 11 and an adhesive part 23 placed on the surface of the extension part.

COPYRIGHT: (C)1995,JPO

© EPDOC / EPO

PN - JP7300702 A19951114  
 TI - BREAST MILK PAD  
 AB - PURPOSE: To provide an easily attachable breast milk pad resistant to displacement. CONSTITUTION: The main body 11 of this breast milk pad is produced by laminating a liquid-absorbing member A to a waterproofing member placed outside of at least the absorbing member. The main body 11 is provided with an extension part 12 extending outward from the main body 11 and an adhesive part 23 placed on the surface of the extension part.  
 IC - A41C3/04  
 FI - A41C3/04&B  
 AP - JP19940108972 19940425  
 PR - JP19940108972 19940425  
 PA - PIGEON CORP  
 IN - NAKADA YOICHI; SONOYAMA IKUKO; NAGASAKA AKIRA

© WPI / Thomson

AN - 1996-080583 [09]  
 TI - Brassiere nipple pad - has absorption body which can absorb liquid and installs first adhesive joint from its surface and has extension part that sets second adhesive joint wherein both joints were mounted at brassieres surface  
 AB - The pad has a main body (11) which installs an absorption body to an area (A) at a central part that can absorb liquid and provided with a waterproof material of a polyethylene laminate layer outside. An extension part (12) with a second adhesive joint (23) is provided to extend from an outside part of the main body while a first adhesive joint (22) is installed at the absorption body surface. The adhesive joint is installed at a brassieres surface at an attachable and detachable state.  
 - ADVANTAGE :  
 Enables easy mounting and prevents position slippage due to mounting effect of adhesive joints.  
 IW - BRASSIERE NIPPLE PAD ABSORB BODY CAN LIQUID FIRST ADHESIVE JOINT SURFACE EXTEND PART SET SECOND MOUNT

PN - JP7300702 A19951114 DW199609  
 IC - A41C3/04  
 ICAI - A41C3/04  
 ICCI - A41C3/00  
 DC - P21  
 PA - (PIGE-N) PIGEON KK  
 IN - NAGASAKA A; NAKADA Y; SONOYAMA I  
 AP - JP19940108972 19940425  
 PR - JP19940108972 19940425

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平7-300702

(43)公開日 平成7年(1995)11月14日

(51)Int.Cl.<sup>0</sup>

A 4 1 C 3/04

識別記号

B

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数 6 F D (全 6 頁)

(21)出願番号 特願平6-108972

(22)出願日 平成6年(1994)4月25日

(71)出願人 000112288

ビジョン株式会社

東京都千代田区神田富山町5番地1

(72)発明者 仲田 洋一

東京都千代田区神田富山町5番地1 ビジ

ョン株式会社内

(72)発明者 園山 育子

東京都千代田区神田富山町5番地1 ビジ

ョン株式会社内

(72)発明者 長坂 明

東京都千代田区神田富山町5番地1 ビジ

ョン株式会社内

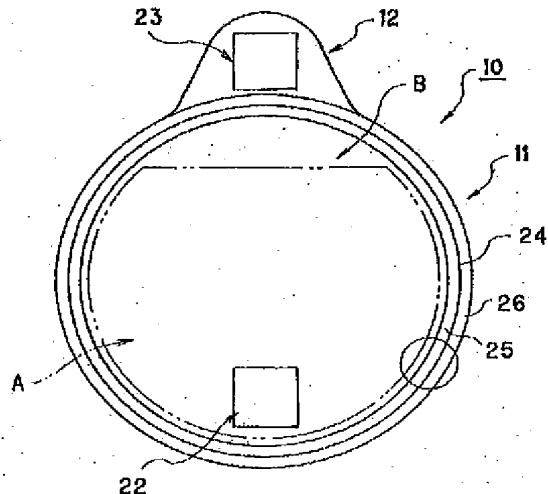
(74)代理人 弁理士 岡▲崎▼ 信太郎 (外1名)

(54)【発明の名称】 母乳パッド

(57)【要約】

【目的】 装着が容易で、しかも位置ズレを生じにくい母乳パッドを提供すること。

【構成】 液体を吸収する吸収体Aと、少なくともこの吸収体より外側に配置された防水材とを積層した本体11を構成した母乳パッドにおいて、上記本体11から外側に向かって延出された延出部12と、この延出部の表面に設けられた接着部23とを有する。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 液体を吸収する吸収体と、  
少なくともこの吸収体より外側に配置された防水材とを  
積層して本体を構成した母乳パッドにおいて、  
上記本体から外方に向かって延出された延出部と、  
この延出部の表面に設けられた接着部とを有することを  
特徴とする、母乳パッド。

【請求項2】 前記本体の内側表面にはドライメッシュ  
シートを配置したことを特徴とする、請求項1に記載の  
母乳パッド。

【請求項3】 前記本体から延びる延出部は2以上設け  
られていることを特徴とする、請求項1もしくは2に記  
載の母乳パッド。

【請求項4】 前記本体に積層される前記吸収体は、前  
記延出部と隣接する領域を除いて配置されていることを  
特徴とする、請求項1乃至3のいずれかに記載の母乳パ  
ッド。

【請求項5】 前記本体の外縁領域は、少なくとも第1  
の領域と、この第1の領域の外側に形成された第2の領  
域を有し、

上記第1の領域は、本体を構成する積層体が表面材に対  
して高い密度で溶着されており、  
且つ上記第2の領域は、第2の領域よりも少ない密度で  
上記積層体及び表面材が溶着されていることを特徴とす  
る、請求項1もしくは4のいずれかに記載の母乳パッ  
ド。

【請求項6】 前記本体の外縁領域は、少なくとも第1  
の領域と、この第1の領域の外側に形成された第2の領  
域とを有し、

上記第1の領域は、本体を構成する積層体が表面材に対  
して溶着されており、  
且つ上記第2の領域は、上記積層体と表面材とを分離し  
た構造としたことを特徴とする、請求項1もしくは4の  
いずれかに記載の母乳パッド。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、授乳期の母親が、ブラ  
ジャーなどの下着と乳房との間に介装するための母乳パ  
ッドの改良に関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】 従来、このような母乳パッドは、つぎの  
ように構成されていた。すなわち、母乳パッドは、例え  
ばブラジャー等の下着の内側と、使用者の乳房との間に  
介装しやすいように、ほぼ円形もしくは、中心が一方に  
やや凸とされた浅いドーム状の形状に形成されている。

【0003】 この円形の母乳パッドは、厚み方向に複数  
の柔軟材料を積層して構成されており、例えば使用者の  
肌と直接接する内側表面に吸収材を配置し、少なくと  
も外側には、母乳が吸収体からしみ出して下着等を汚す  
ことがないように防水材料が積層されてになっている。

【0004】 そして、この防水材料の表面側の所定の位  
置には、接着材等を適用した接着部が形成されている。  
これにより、この接着部をブラジャー等の下着の内側表  
面に対して接着し、母乳パッドの固定がなされるように  
なっている。

## 【0005】

【発明が解決しようとする課題】 ところが、このような  
従来の母乳パッドにあつては、内側表面が全体にわたつ  
て吸収体でおおわれているために、使用中にこの吸収体  
によって保持された母乳のためムレやすいという問題が  
ある。

【0006】 また、母乳パッドの表面側に形成した接着  
部によつては、使用者が下着を着用した状態でその下着  
内側に接着する作業が困難で、母乳パッドを下着に対し  
てしっかりと固定しにくい。このため、母乳パッドと下  
着との相対位置がズレやすいという欠点があつた。

【0007】 本発明は、以上の点に鑑み、着用した状態  
でムレにくく、しかも位置ズレを生じにくい母乳パッド  
を提供することを目的とする。

## 【0008】

【課題を解決するための手段】 上記目的は、本発明によ  
れば、液体を吸収する吸収体と、少なくともこの吸収体  
より外側に配置された防水材とを積層して本体を構成し  
た母乳パッドにおいて、上記本体から外方に向かって延  
出された延出部と、この延出部の表面に設けられた接着  
部とを有する母乳パッドにより、達成される。

【0009】 好ましくは、前記本体の内側表面にはドライ  
メッシュシートを配置する。

【0010】 好ましくは、前記本体から延びる延出部は  
2以上形成される。

【0011】 また、好ましくは、前記本体に積層される  
吸収体は、前記延出部と隣接する領域を除いて配置され  
る。

【0012】 さらに、好ましくは、前記本体の外縁領域  
は、少なくとも第1の領域と、この第1の領域の外側に  
形成された第2の領域を有し、上記第1の領域は、本体  
を構成する積層体が表面材に対して高い密度で溶着され  
ており、且つ上記第2の領域は、第2の領域よりも少な  
い密度で上記積層体及び表面材が溶着されている。

【0013】 また、前記本体の外縁領域は、少なくとも  
第1の領域と、この第1の領域の外側に形成された第2  
の領域とを有し、上記第1の領域は、本体を構成する積  
層体が表面材に対して溶着されており、且つ上記第2の  
領域は、上記積層体と表面材とを分離した構造としても  
よい。

## 【0014】

【作用】 上記構成によれば、略円形の本体から、延出部  
が径方向外側に延出して形成されている。このため、本  
発明の母乳パッドを下着との間に介装すると、下着であ  
る例えばブラジャーのカップ部内に母乳パッドの本体は

収容されて、上記延出部は、外に延びることになる。したがって、この外に延びる延出部を折り返すことにより、下着、例えばブラジャーのカップ部の表面に、上記延出部の表面の接着部を押しつけると、母乳パッドを下着に対して簡単かつ確実に固定することができる。

【0015】

【実施例】以下、この発明の好適な実施例を添付図面を参照しながら、詳細に説明する。尚、以下に述べる実施例は、本発明の好適な具体例であるから、技術的に好ましい種々の限定が付されているが、本発明の範囲は、以下の説明において特に本発明を限定する旨の記載がない限り、これらの態様に限られるものではない。

【0016】図1は、本発明の第1の実施例による母乳パッドの正面図であり、図3はその側面図、図4はその積層構造を示す一部断面図である。図1において、母乳パッド10は、正面から見て略円形の本体11と、この本体11から、外側に延出して形成された延出部12を有している。

【0017】上記本体11は、図4に示されているように、例えば内側からドライメッシュシート13、ティッシュ14、高分子吸収材15、パルプ16、ティッシュ17、ポリエチレンラミネート18の各素材を積層して構成されている。そして、全体の形状は、図1に示す正面から見て円形で、図3に示すように、浅い碗状に形成されている。これにより、本体11にて使用者の乳房の少なくとも一部を包むことができる形状とされている。ここで、ドライメッシュシート13は、例えばポリエチレンにて形成された網状のシートであり、このドライメッシュシートを本体11の最も内側に配置している。

【0018】これにより、本体11の直接使用者の肌に接触する部分が後述する吸収体から離間されるので、この肌の部分が吸収体に保持された母乳によって濡れることがない。このため、母乳パッドの内側がムレにくく、肌がかぶれたり、不快な感じになることが有効に防止される。また、肌、特に乳房の表面が吸収体に直接接している場合には、濡れた吸収体から繊維が脱落して乳首に付着する可能性があるが、このドライメッシュシート13が吸収体と乳首との間に介在しているので、このようなおそれがなく、常に清潔に授乳することができる。

【0019】上記ドライメッシュシート13の上層には、ティッシュ14、パルプ15、高分子吸収材（例えばポリアクリル酸塩）16、ティッシュ17でなる吸収体21が積層されている。この吸収体21は、上述のように使用者が本母乳パッド10を装着した場合に、母乳を吸収して保持するものである。したがって、このような機能を発揮するものであれば、吸収体21の構成は、図示のものに限られない。例えば吸収体21の層構造上ティッシュと高分子吸収体とはいずれかを省略することができる。また、吸収体21としては、これらの他に給水性のある不織布や布もしくは紙だけを用いてもよい。

【0020】さらに、表面部には防水材もしくは表面材としてのポリエチレンラミネート層18が積層されている。このポリエチレンラミネート層18によって吸収体21に保持された母乳が下着側に染み出ることがないようにしている。そして、このポリエチレンラミネート層18のさらに表面側には、図1と図3に示されているように、第1の接着部22が形成されている。この第1の接着部22は、上記ポリエチレンラミネート層18の上に設けられたホットメルト層22bと、その上に貼られた剥離紙22aとからなっている。

【0021】このような構造の本体11から、図1及び図3に示すように延出部12が延びている。この延出部12は、図3に示されているように、本体11の表面材であるポリエチレンラミネート層18を一体に延長すること、あるいはこのポリエチレンラミネート層18とドライメッシュシート13を一体に延長することにより形成される。また、本体11を構成する層構造をそのまま延長することにより形成してもよい。

【0022】すなわち、図1に示されているように、この延出部12は、略円形の本体11の径方向の外側に向かって延びていて、曲線の外形をもつ山形に形成されている。この延出部12は、本体11との境界付近で折り曲げることにより、図3の矢印に示すように、外側に向かって折り返すことができるようになっている。この延出部12の正面側（表面側）には、第2の接着部23が設けられている。この第2の接着部23は、前述の第1の接着部22と同様にホットメルトと、このホットメルトの上に貼着された剥離紙により構成されている。

【0023】さらに、好ましくは、本体11の外周領域（外縁領域）が以下のように構成されている。即ち、本体11の外周領域24は、図1に示されているように内側の第1の領域25と、この第1の領域に隣接して同心円状に形成された第2の領域26とからなっている。この第1の領域25と、第2の領域26とは図2に拡大して示すように構成されている。ここで、第1の領域25は、図4で説明した表面側のポリエチレンラミネート層による防水材層18と、これより下層のドライメッシュシート13とがヒートシールによって固定されている。

【0024】この場合、第1の領域25においては、多数の溶着ポイント26aを設けることにより、防水材層18と、それドライメッシュシート13とが固定される。一方、外側の領域である第2の領域26は、防水材層18と、ドライメッシュシート13とを溶着により固定していない。

【0025】このように構成することにより、本体11では、防水材層18は、第1の領域25において、ドライメッシュシート13と固定されるとともに、第2の領域26においては、吸収材21以下の層と固定されずにフリーとなっている。

【0026】あるいは、第1の領域25と、第2の領域

26は、共にドライメッシュシート13と溶着するようにし、第2の領域26は第1の領域25よりも溶着密度を少なくするように構成してもよい。これにより、本体11の固い表面材としてのポリエチレンラミネート層18がそれ以下の層と固着されて一体となり、その硬い周縁部が使用者の肌にゴワゴワとした不快な刺激を与えることが防止される。

【0027】尚、この第1の領域25の幅L1は、溶着による固定強度を勘案すると、好ましくは4mm程度であり、第2の領域26の幅L2は3mm程度が好ましい。

【0028】さらに、この実施例の母乳パッド10では、図1に鎖線で囲んで示すような範囲Aで、本体11に積層される吸収体21が配置されている。この場合、延出部12に近接する領域、本体11の中央よりやや上で水平に区画される領域Aより上には、吸収体21を積層しないようにする。

【0029】このように構成できたのは、母乳パッド10に延出部12を設けて、これを利用して後述するように装着するようにしたために、全体として円形なる母乳パッド10の装着時に一義的に方向性を持たせることができることによる。すなわち、この母乳パッド10は、延出部12を上方向として、使用者の乳房に当てるように構成したので、その乳首が当たる箇所は、母乳パッド10の中央付近か、少なくともそのやや上あたりまでである。

【0030】したがって、図1の領域Aよりも上の領域Bに位置することはないから、領域Bに吸収体は必要とされない。したがって、この領域Bの分だけ吸収体の使用量を減らすことができるので、ムレる箇所の面積が減少し、ムレが抑制されると共に、フィット性が向上し、さらに材料費の削減による製造コストの低減が実現される。

【0031】本発明の第1の実施例は以上のように構成されており、この母乳パッド10は、図5に示すように使用される。図において、31はこの母乳パッド10を用いるための下着としての例えば授乳用ブラジャーを示している。この授乳用ブラジャー31は、左右のカップ部32、33の上端を、スナップ34、35を着脱することにより外すことができるようになっている。このカップ部32、33の内側と乳房との間に母乳パッド10、10をそれぞれひとつずつ介装する。

【0032】具体的には、母乳パッド10、10は、第1の接着部22、22の剥離紙22a、22aを剥がして、それぞれ接着剤を露出させる。この状態で、図5に示されているように、授乳用ブラジャー31のカップ部32、33の内側に、第1の接着部22、22をそれぞれ固定する。この時、母乳パッド10、10の延出部12、12は、それぞれやや内方に傾斜した状態で上方向に配置されカップ部32、33から外部に延びてい

る。

【0033】次いで、これら延出部12、12をカップ部32、33の表面側に折り返す。この場合、延出部に設けられた第2の接着部23、23はその剥離紙を剥がしておき、接着剤が露出するようにしておく。これにより、使用者は、母乳パッド10、10の延出部12、12がカップ部32、33の表面にしっかり固定されたか否かを自分の目で確認しながら、確実且つ容易に固定することができる。

【0034】したがって、この実施例の母乳パッド10によれば、延出部12を利用してブラジャー等の下着に簡単に介装することができ、しかもこの延出部による固定状態を容易に視認した上で固定することができるので、位置ズレを生じない。

【0035】しかも、この母乳パッド10は、最も内側の層がドライメッシュシートであるから、ムレを生じにくく、肌に対する感触がよいので、装着感に優れている。さらに、従来は最も内側の層に不織布を用いていたために、その繊維が使用者の肌に付着するという欠点があったが、このような事態も有効に回避される。また、特に、母乳パッドの本体11の周縁部が溶着されていないか、あるいは溶着ポイントを少なくするように構成すれば、円形本体11の周縁部によって、素肌に硬い感触を与えることを防止でき、ガサガサした感触がないので、この点でも装着感に優れている。

【0036】図6乃至図8は本発明の他の実施例を示している。図6は、第2の実施例であり、この実施例が上述の第1の実施例と相違しているのは以下の点である。即ち、この母乳パッド40には、本体41から一体に突出する二つの延出部42、42が設けられている。そして、この延出部42、42には、それぞれ接着部45、46が設けられている。また、本体44の下部表面には接着部44が形成されており、他の構成については第1の実施例と同様である。

【0037】したがって、本実施例の母乳パッド40によれば、二つの突出部42、42により、ブラジャー等の下着に固定することができ、より安定的に固定されるので、その分位置ズレを生じにくい。

【0038】図7の第3の実施例に係る母乳パッド50は、本体51から延びる延出部が3つであり、周方向に関して等間隔にそれぞれ52、52、52として形成されている点が上述の第1、第2の実施例と相違している。したがって、下着に対する固定が、全てこの延出部52、52、52の接着部55、55、55によって行われる。これにより、使用者は、全ての接着箇所を視認できるから、より装着固定が容易で、しかも確実に固定されることになる。

【0039】図8に示すのは、本発明の母乳パッドの第4の実施例である。この母乳パッド60は、本体61と、この本体に設けられた延出部62とが別体に形成さ

れている点が第1の実施例と相違していて、他の構成は共通である。このため、第1の実施例と比較すると、さらに生産性を向上させることができる。

【0040】尚、本発明は上述の実施例に限定されない。母乳パッド本体は、上述の実施例では正面からみて略円形に形成されているが、これに限らず例えば三角形、四角形等の種々の形状を採用できる。また、表面材と、それ以下の層、例えばドライメッシュシートを延出部にまで延長して設ける場合には、この延出部の外縁部と上記ドライメッシュシートとの溶着に固定を行わないか、あるいは溶着ポイントの数を内側の領域より減らすようにしてもよい。

【0041】

【発明の効果】以上述べたように、本発明によれば、装着が容易で、しかも位置ズレを生じにくい母乳パッドを提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明による母乳パッドの概略正面図である。

【図2】図1の母乳パッドの周縁部の拡大図である。

【図3】図1の母乳パッドの概略側面図である。

【図4】図1の母乳パッドの積層構造を示す図である。

【図5】図1の母乳パッドを装着する様子を示す説明図である。

【図6】本発明の母乳パッドの第2の実施例を示す概略正面図である。

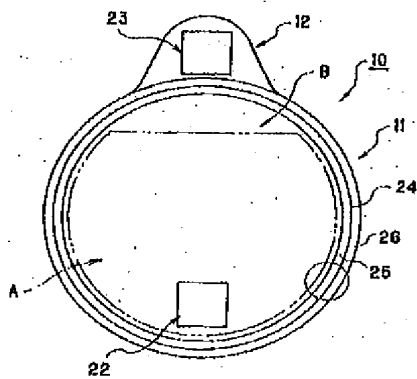
【図7】本発明の母乳パッドの第3の実施例を示す概略正面図である。

【図8】本発明の母乳パッドの第4の実施例を示す概略正面図である。

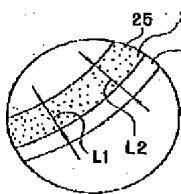
【符号の説明】

- |    |                    |
|----|--------------------|
| 10 | 母乳パッド              |
| 11 | 本体                 |
| 12 | 延出部                |
| 13 | ドライメッシュシート         |
| 18 | ポリエチレンラミネート層 (防水材) |
| 21 | 吸収体層               |
| 22 | 第1の接着部             |
| 23 | 第2の接着部             |
| 24 | 周縁部                |
| 25 | 第1の領域              |
| 26 | 第2の領域              |
| A  | 吸収体を配置した領域         |

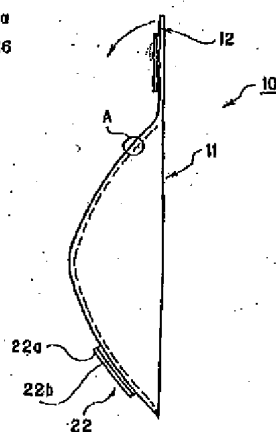
【図1】



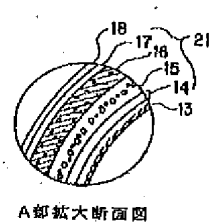
【図2】



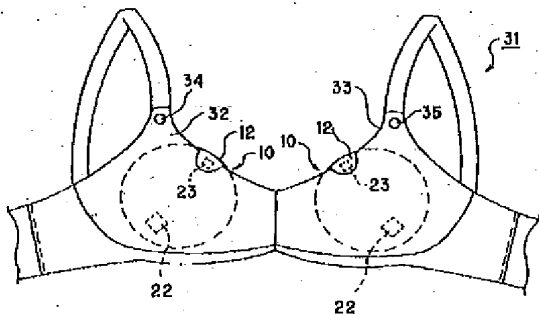
【図3】



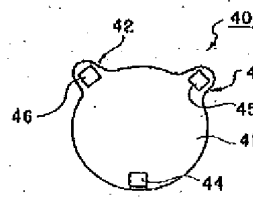
【図4】



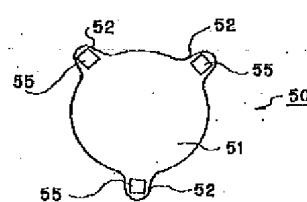
【図5】



【図6】



【図7】



(6)

特開平7-300702

【図8】

